

第41回 BSN高等学校剣道選手権大会開催要項
(第29回 全国高等学校剣道選抜大会 新潟県予選会)

- 1 主催 BSN新潟放送 新潟県剣道連盟
- 2 共催 新潟県高等学校体育連盟
- 3 後援 新潟県学校剣道連盟
- 4 主管 新潟県高等学校体育連盟剣道専門部
- 5 日時 令和2年1月11日(土)・12日(日)(開場は両日とも7:00)
- 11日(土) 8:30 審判、監督、代表者会議
9:15 開会式
9:50 試合開始
個人戦(決勝まで)
団体戦 *17:30打ち切り
- 12日(日) 8:30 審判打ち合わせ
8:50 試合開始
団体戦(決勝まで)
15:30 閉会式
- 6 会場 「亀田総合体育館」
〒950-0144 新潟市江南区茅野山3-1-13 ☎025-381-1222
- 7 出場資格
- ・平成13年4月2日以降に生まれた県下の高等学校1・2年生で、新潟県高体連の定める大会参加資格を有する者。
 - ・個人戦の出場者枠について、各地区大会ベスト8の選手及び春の県大会上位4校の校数×2名とする。ただし、新潟地区は、男子16名(県大会上位枠無し)、女子12名(県大会上位枠含めて上限16名)とする。
 - ・団体戦は登録選手7名とし、フリーエントリーとする。
 - ・団体戦の申し込み人数が3人の場合→先・中・大、4人の場合→先・中・副・大として参加を認めるが、上位大会の出場権利を有してもそれを辞退するものとする。
 - ・少人数のため、団体戦に参加できない学校については、強化部で混成チームを編成し、出場できることとする。(地区大会で個人の出場枠を獲得していても出場できる。)混成チームについては、3～4名で編成し、5名いる学校と対戦することを基本とする。
 - ・定通部の参加も認める。
- 8 試合方法
- ・試合は、すべて全日本剣道連盟試合規則並びに審判規則に従って実施する。試合時間は、全国高等学校体育連盟剣道専門部及び新潟県高等学校体育連盟剣道専門部申し合わせ事項に準じて実施する。
- <団体戦> ① 5名の勝者数法による。また、すべてトーナメント法で行う。ただし、女子は、全国高等学校剣道選抜大会に上位2校が出場できるため、上位4校でリーグ戦を行い、順位を決定する。

② 試合時間は4分とし、勝敗の決しない場合は引き分けとする。

③ 登録選手によるオーダーの変更は試合ごとに認める。

なお、オーダー表の提出は前の試合の次鋒戦終了までとする。

ただし、各コート第1試合のオーダー表は個人戦終了までにオーダー表提出所に提出すること。

<個人戦> ① 試合時間は4分、延長戦は時間を区切らず勝敗の決するまで行う。

② すべてトーナメント方式で行う。

- 9 申込方法 高体連剣道専門部HPより必要な書類をダウンロードし下記アドレスにメールにて申し込むこと。また、メールと同時に印刷した書類を下記住所まで送付してください。封筒に『BSN剣道大会参加申込書在中』と朱書すること。

=参加申込先=

〒956-0832 新潟市秋葉区秋葉1丁目19番1号

県立新津高等学校 「重野 太志」宛

TEL 0250-22-1920 FAX 0250-24-6340

shigeno.futoshi@nein.ed.jp

10 申込締切

令和元年11月22日(金) 必着

11 抽選会

日時 令和元年11月28日(木) 午前10時から専門委員会で行う。

会場 **新津高等学校大会議室**

12 表彰

団体戦、個人戦共に3位まで表彰する。

13 参加料

団体戦1チーム 5,000円

個人戦のみ出場者 500円 *大会当日受付に納入のこと。

(団体戦と個人戦を兼ねる者は、団体戦出場者とする。)

14 上位大会出場資格

全国選抜大会 男子団体：優勝校 女子団体：優勝校・準優勝校

北信越新人大会 男子団体：上位4校 女子団体：上位5校

15 その他

- ・本大会は、令和2年度国民体育大会少年の部の第一次選考会を兼ねる。また、第68回全日本都道府県対抗剣道優勝大会、第12回全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会の選手決定の参考とする。
- ・竹刀の計量は、11日午前7時30分より2F検量場で男子・女子指定の場所で行う。尚、検印のない竹刀を使用した場合は失格とする。
- ・団体戦において選手の変更が生じた場合、所定の用紙に記入し学校長の許可を得て1月11日(土)の審判・監督者会議までに大会本部へ届け出ること。
- ・選手は「名札」に校名・氏名を明記し、紅白の標識は各校で用意のこと。
- ・大会に参加する生徒は、必ず引率責任者が引率し、参加生徒のすべての行動に対して責任を負うものとする。
- ・大会に参加している生徒の競技上の疾病および障害等の応急処置は(医師による経費は自己負担)主催者側で行うが、その後の責任は一切負わない。
- ・昨年度優勝校は、返還物を持参のこと。
- ・マイクロバスは、誘導に従うこと。